

## 【別紙】各種確認書(申請人作成用)

参考様式

## 1 日本語能力(該当するものを全て記載)

Japanese language ability (select all the appropriate ones)

☒ 試験による証明 Proof based on a Japanese language test

(1) 試験名

Name of the test

(2) 級数又は点数

Attained level or score

日本語能力試験

N2

(3) 試験日

Date of the test

2024年7月7日

直近のもの、またはメインのものについて記載してください。Current school name.

☒ 日本語教育を受けた教育機関及び期間 Organization and period to have received Japanese language education

(1) 機関名

Organization

〇〇日本語学校

(住所)

(Address)

韓国ソウル市XXXXX

(2) 期間

Period from

2023

年

9

月

から

2024

年

2

月まで

(3) 学習時間

Study hours

300

時間

hours

授業時間の総数。自習時間等を含めない。The hours of total classes, not including the study time at home.

## 2 入学選考における語学能力の確認方法(該当するものを全て記載)

Selection of Entrants (select all the appropriate ones)

☐ 試験 test☐ 語学能力の確認(レベル)

Check of language ability (level)

(

試験

級/点 相当)

例) 日本語能力試験N2相当

☐ 面接 Interview☐ 語学能力の確認(レベル)

Check of language ability (level)

(

試験

級/点 相当)

例) 日本語能力試験N2相当

☒ 書類確認 Check of documents☒ 語学能力(確認書類)

Language ability (documents)

(

TOEFL iBT

試験

80

級/点 証明書)

例) 日本語能力試験N2

☐ その他(詳細) others (details)

(

)

例) ●●からの推薦

For Applicants of Graduate programs, Please blacken the box of "Check of documents" and "Language ability (documents)" and fill in your English Test such as TOEIC, TOEFL or IELTS, and the score too.

※ 2の語学能力については、修学に必要な外国語の語学能力の記載で可。募集要項等を参考に可能な範囲で記載してください。

※ 記載は任意となりますので、当該記載内容のみをもって、在留資格において不利益な取扱いをすることはありません。ただし、記載内容が虚偽であることを発見した場合、在留資格の取消等を行う可能性があります。在留審査において疑義が生じ、記載内容も不足している場合、書類の追加提出を求める可能性があります。

※ 以下「教育機関/課程等名」については、教育機関、課程、学部、学科、専攻、コース等の名称を詳細に記載してください。

Your Name.

Same as passport!

教育機関/ 早稲田大学

WASEDA TARO

課程等名: 大学院政治学研究科 修士課程 政治学専攻

申請人氏名:

研究科名、課程名、専攻

Graduate School of Fundamental/ Creative / Advanced Science and Engineering, Master / PhD / Research program, Department name